

令和4年度第2回多治見市児童館等指定管理者候補団体選定及び評価委員会会議録

会議名	令和4年度第2回多治見市児童館等指定管理者候補団体選定及び評価委員会
日時	令和4年7月14日(木) 9時00分～16時50分
場所	多治見市学習館 6階視聴覚室
出席者	河合俊宏委員(委員長)、荒井和樹委員(副委員長)、三宅和世委員(早退)、田中勝也委員、宮村登美子委員、林伸彦委員(遅参)、加藤裕子委員 事務局：加藤泰治福祉部長、勝見祐子福祉部課長(子育て支援担当)、子ども支援課 鈴木良平、武井かぐみ、中島あゆみ、企画防災課 細江恭平
欠席委員	後藤照代委員、加知玲子委員
傍聴者	なし(一部非公開)
<p>内容</p> <p>●挨拶</p> <p>課長：これより令和4年度第2回多治見市児童館等指定管理者候補団体選定及び評価委員会を開催する。開催にあたり、福祉部長からあいさつを申し上げる。</p> <p>部長：(部長あいさつ)</p> <p>課長：(事務局職員紹介、資料の確認)</p> <p>会議の公開・非公開について、この会議は多治見市情報公開条例第6条第2項第4号及び第23条の規定により評価に係る部分は公開、選定に係る部分は非公開とする。</p> <p>●議題(1) 正副委員長の選任</p> <p>課長：任期後初の会議であり、正副委員長が決まっていない。委員会要綱第5条の規定により、委員長及び副委員長は委員の互選により定める。事務局からの案を提出したいがよろしいか。 (各委員から異議なし)</p> <p>それでは、委員長に、河合委員、副委員長に荒井委員を提案する。 (各委員から異議なし)</p> <p>委員長は河合俊宏委員、副委員長は荒井和樹委員に決定した。</p> <p>●議題(2) 委員会進行説明</p> <p>委員長：(委員長挨拶)</p> <p>議題(2)の委員会進行説明について、事務局より説明を行う。</p> <p>事務局：(事務局説明)</p> <p>委員長：事務局の説明について、質疑はないか。 (質疑なし)</p> <p>●議題(3) 令和3年度指定管理者の事業評価</p> <p>委員長：令和3年度の評価を、川北グループ、川南グループ、坂上児童館、笠原児童館、小泉交流センターの順に行う。最初に事務局から説明を行う。</p> <p>事務局：(事務局説明)</p> <p>委員長：事務局の説明について質疑はありませんか。</p>	

(質疑なし)

委員長：それでは、これより川北グループの指定管理者から説明願う。

(多治見市社会福祉協議会入室)

委員長：それでは、川北グループの説明をお願いする。時間は、共栄児童館、旭ヶ丘児童センターそれぞれ10分以内、合計20分以内をお願いする。

(多治見市社会福祉協議会 事業説明)

委員長：事業説明に関し、質疑はありますか。

委員：資料と説明から利用者の気持ちに寄り添っていると感じた。参加を申し込んだ方がコロナで延期等になった場合は、再度実施して参加いただくという姿勢は素晴らしい。また、共栄児童館への道が怖いという方に対し、別の道を案内するという細かい対応が素晴らしい。児童館近くの危険箇所を調べてハザードマップを子ども達と一緒にすることは重要。障がい児遊びの広場という事業があるが、今発達支援が必要なお子さんが増えている中で大切だが、どのようなものか教えてほしい。

共栄児童館：障がい児遊びの広場は、和太鼓体験を行った。健常児、幼児やお母さんも一緒に集う場所とし、大変喜んでいただいた。

委員：旭ヶ丘児童センターについて、なないろ広場は社会福祉協議会の組織の連携として行っているが、旭ヶ丘だけでなく他の児童館でもやっていただけるとよいと思う。また、地域の小中学校の先生と連携を取り、子どもを見守る姿勢は良い。また、母親クラブのクラブ員が特技や資格を活かして講師となっているところもよい。

旭ヶ丘児童センター 遊びに来た子どもと話をすることでわかってくることもあり、支援につなげている。母親クラブの現会長がバイタリティのある方で、児童センターはクラブ活動の支援をしているが、逆に教えられることもあり、ウィンウィンの関係ができていて、これからも続けていく。

委員長：他に質疑はないか。

(質疑なし)

(多治見市社会福祉協議会退出)

委員長：それでは評価に移る。資料8の点数比較表で事務局案を確認する。前年度と比較して共栄児童館は86点が87点、旭ヶ丘は87点が88点と、ともに1点アップとなっている。これについて、これで良いか修正すべきか、各委員の意見を伺う。

委員：令和2年度と比べて創意工夫が見られるということで、事務局案で良い。

委員：昨年度より発表の内容も良くなっており、事務局案で良い。

委員長：それでは、共栄児童館と旭ヶ丘児童センターの評価は、事務局案のとおり決定してよいか。

(異議なし)

委員長：事務局案のとおり決定する。

(3分間休憩)

委員長：再開する。川南グループの評価を行う。事務局案について、事務局から説明する。

(事務局説明)

委員長：指定管理者のワーカーズコープから説明をお願いします。

(ワーカーズコープ入室)

委員長：中央、市之倉、脇之島の順に、各館 10 分以内、合計 30 分以内で説明願う。

(ワーカーズコープ事業説明)

委員長：質疑の前に私から確認ですが、バスケットゴールの修繕の話があったが、これは市と指定管理者どちらが対応するものか。

事務局：指定管理の協定の中で、修繕は金額によりどちらがやるかを決めている、今回のバスケットゴールの修繕は金額的に市で行うこととなる。現在予算措置等の検討をしている。

委員長：他に質疑はないか。

委員：話を聞いて児童館の役割が大変よく分かった。コロナ感染対策も参考になる。児童館で遊んだ子が中高生になって訪れ、小さい子の面倒を見るという優しい気持ちの子どもが多く育っていると思うと、児童館の役割の重要性を改めて感じた。事業のネーミングも含めて、子どもの興味を引くような工夫がされている。「お野菜ビンゴ」という事業があったが、どういうものか教えてほしい。

市之倉児童センター：お野菜ビンゴは、野菜の形をいくつか用意してそれを取ってきてビンゴのように並べていくもの。野菜の形や名前をゲームを通して覚えていく。小さい子から大きい子まで参加できるところが売り。

委員長：他に質疑は。

委員：中央児童館で「ちびっこ広場」を日曜日に新しく実施したことは良かった。小学校のお便り配布時の放送紹介を積極的に行ったとの記載（市之倉児童センター）があるが、これは紙情報ではない子どもへの情報の伝え方として大事な取組みだと思う。運動遊びで専属の講師をお願いして実施との説明だったが、どういう形で依頼されたのか、どのようなメリットがあったのか教えてほしい。

脇之島児童センター：講師をやってもいいという方を地域の方から教えていただき、館からお願いをし、やっていただくこととなった。もう 5 年程お願いしている。

委員：他の館でも卓球とかトランポリンをやっているが、それらも地域の方に講師をお願いしてやっているか。

脇之島児童センター：トランポリンは地域の方の講師はいないが、卓球は、指導がしたいという方がセンターに来られてお願いして小学生の卓球クラブでやっている。

委員長：他に質疑はあるか。

(質疑なし)

(ワーカーズコープ退出)

委員長：それでは評価に移る。資料 8 の比較表で前年度との比較で事務局案を見てください。中央

と市之倉は前年度からそれぞれ1点上がって、脇之島は2点上がっている。これにより3館とも「極めて良好」となった。説明を聞いてわかるように極めて順調に運営をされている。3館とも極めて良好となったことは好ましいことと思うが、委員の意見はいかがか。

(委員から意見なし)

委員長：意見ないようなので、川南グループの3館の評価は、事務局案通りで良いか。

(異議なし)

委員長：それでは、川南グループの3館も事務局案どおり決定する。

(5分間休憩)

委員長：再開する。次は、坂上児童館の評価を行う。事務局から説明願う。

(事務局説明)

委員長：指定管理者のワーカーズコープの説明をお願いします。

(ワーカーズコープ入室)

委員長：坂上児童館の事業の説明をお願いします。説明時間は10分以内をお願いします。

(ワーカーズコープ事業説明)

委員長：質疑はないか。

委員：中高生事業は参加者が増えにくいと思うが、中高生ボランティアを募集して多くの参加があった。何か工夫があるか。

坂上児童館：毎年決まったやり方をしているが、中学校の「かがやき隊」に依頼している。また、子ども達が自主的にコーディネーターをつくっていて、やり取りをしている。こちらが8人お願いしたら、30人以上の応募があり、学校の先生と相談し、全員参加してもらった事業もある。これまで参加してもらわなかった事業にも参加していただき、よかった。

委員長：他に質疑は。

委員：「プレベビーサークル」が良い着眼点だと思う。親子関係のサポートや地域でどう関係を作っていくかは重要である。他の児童館にも広げて行ってほしい。クリスマス会を保護者の要望を受けて園児対象で行ったと聞いたが、保護者の要望を聞いて、事業に取り入れ実施していることは柔軟な対応であり素晴らしいことである。

坂上児童館：クリスマス会は小学生対象のものは土曜日に実施していたが、乳幼児は水曜日に実施していた。そうすると園児が参加できなかったが、保護者から園児も参加したいという声があったので実施した。中学生ボランティアを新たにお願ひして、サンタクロースもやっていただいた。

委員：いつも児童館を利用させてもらっている。館長と色々と相談しながらお互い協力して地域づくりをしている。児童館についての質問意見は特にない。

委員長：他に質疑はないか。

(質疑なし)

(ワーカーズコープ退出)

委員長：それでは評価に移る。事務局案は前年度から1点上がって86点で極めて良好であるが、

修正等の意見はないか。

(委員から意見なし)

委員長：意見ないようなので、坂上児童館の評価は事務局案通りで良いか。

(異議なし)

委員長：それでは、坂上児童館の評価は事務局案どおり決定する。

(5分間休憩)

委員長：再開する。次は笠原児童館の評価を行う。事務局から説明願う。

(事務局説明)

委員長：指定管理者のワーカーズコープの説明をお願いします。

(ワーカーズコープ入室)

委員長：笠原児童館の事業の説明をお願いします。説明時間は10分以内をお願いします。

(ワーカーズコープ事業説明)

委員長：質疑はないか。

委員：「おはなしランド」事業について、木育広場の開催日に設定して、来館者が集まった頃合いを見計らって声掛けして、終日実施したとの説明だったが、どういう状況で実施されているかイメージが良くできないので、説明してほしい。

笠原児童館：あらかじめ午後に時間を決めているが、午前中も人が集まっていれば声掛けして午後にやる予定のおはなしランドと同じ内容のものをやったり、午後も予定時間にこだわらずに来館者がおはなしを聞ける状況であれば柔軟に声掛けして実施している。多い日は午前、午後2回行っており、これを終日開催と表現した。臨機応変な対応とご理解いただければよい。

委員：わかりました。

委員長：他に質疑はあるか。

委員：自主事業の中で講師の方が利用者が話しやすい雰囲気をつくって進めてくれたという報告があったが、大変良いこと。利用者が事業にかかわっていただける工夫が大切。事業を実施するうえで、何か困ったことや課題はなかったか。

笠原児童館：令和3年度もコロナで2回の緊急事態宣言とまん延防止措置が出て、予定していた事業が延期になったりした。解除後に実施するように調整をしたが、講師の日程の関係で再度実施がどうしても困難でやむなく中止にした事業もあった。

委員長：他に質疑あるか。

委員：父親や祖父母が参加する事業を行っているが、保育園では祖父母参観を企画したが、コロナで実施できなかった。児童館の祖父母の参加状況はどうだったか。

笠原児童館：父親の参加については、土日の利用が他の児童館より多い印象を受けている。令和3年度の事例で、笠原地区にお住まいの祖父母が来館し、今後孫が遊びに来るので児童館を利用したくて、どんなところか事前に見に来た、というケースがあった。笠原は地域全体で子育てする力が強いと感じており、高齢者の来館も多い。

委員長：他に質疑はないか。

（質疑なし）

（ワーカーズコープ退出）

委員長：それでは評価に移る。事務局案は前年度と同じ 87 点で極めて良好であるが、修正等の意見はないか。

（委員から意見なし）

委員長：意見ないようなので、笠原児童館の評価は事務局案どおりで良いか。

（異議なし）

委員長：それでは、笠原児童館の評価は事務局案どおり決定する。これで午前中の評価を終了し、1 時間の昼休憩とする。再開は、午後 1 時とする。

（1 時間休憩）

委員長：再開する。小泉交流センターの評価を行う。事務局から説明願う。

（事務局説明）

委員長：指定管理者のワーカーズコープの説明をお願いします。

（ワーカーズコープ入室）

委員長：小泉交流センターの事業の説明をお願いします。説明時間は 15 分以内をお願いします。

（ワーカーズコープ事業説明）

委員長：質疑はないか。

委員：ベビーズクラブについて、利用者のニーズに合わせて 1 クラブにまとめたとの説明があったが、どのようなニーズがあったのか、まとめた効果はあったのか。もう一つは避難訓練で、図上訓練を行って、その後実際に歩いて確認したとの報告だったが、自分たちで考えて歩いて確認するという取組みは良いと思った。

小泉交流センター：小泉交流センターができる前の大原児童館での取組みで、月齢により「よちよちクラブ」と「はいはいクラブ」に分けて実施していたが、保護者からいつの段階でクラブを移ればよいのかとの声があったので、いっそのこと一つにまとめた。これにより、保護者からの質問は減った。また、まとまって活動することで、センターは広いので活動がしやすくなった。2 点目の避難訓練は、笠原消防署にお願いして F I G 図上訓練というものを行った。これは図面上で今火事が起きたら自分はどう行動するかをコマを使ってやってみるというもので、ゲーム感覚でやれるので子どもにもやってもらおうと実施した。コマを使ったあとに実際にその通りに動いてみてここは危ないとかを確認できた。

委員長：他にありませんか。

委員：小泉保育園が近いので交流ができるとよいと思っているが、コロナでできていない。少し遠くなったけれど、年長園児などセンターにお邪魔して交流をしたい。また、児童館利用の保護者も小泉保育園に子どもを通わせたい方もいらっしゃると思うので、園の情報をセンターと共有したり、情報提供をお願いできたりするとよい。よろしくお願ひしたい。

小泉交流センター：保育園とも連携は取らせていただきたい。先日も保護者の方から保育園のことを聞かれた。園と情報共有し、センターからも発信できるとよい。

委員長：他にありませんか。

委員：ボードゲームをやっている館が結構多いが、参加人数を見るとあまり多くない。参加者は少ないけれど、実施する意義はどのようなものか。

小泉交流センター：数年前に笠原で「モザイク」というタイルを使ったゲームが開発され、各児童館に1セット寄付を受けた。せっかく地元のゲームができたので、広めたいと思い事業で始めた。また、「モザイク」だけでなく、他のボードゲームも一緒にやるようにした。ボードゲームの道具を自分で作ることが好きな職員がおり、色々なボードゲームを自作し、子ども達に使ってもらっている。ボードゲームはコロナ対策として距離を取って遊ぶこともできるということで、特にここ2年取り入れている。

委員長：他にありませんか。

(質疑なし)

(ワーカーズコープ退出)

委員長：それでは評価に移る。事務局案は前年度から1点上がって87点で極めて良好であるが、修正等の意見はないか。

(委員から意見なし)

委員長：意見ないようなので、小泉交流センターの評価は事務局案通りで良いか。

(異議なし)

委員長：それでは、小泉交流センターの評価は事務局案どおり決定する。これで評価はすべて終了した。この後選定に移るが、5分休憩とする。

(5分間休憩)

【これ以降、議題(4)次期指定管理者選定については、非公開】

●議題(4)次期指定管理者選定

(今回の選定は、小泉交流センター、笠原児童館、坂上児童館の3館について行った。)

委員長：以上で、すべての議事が終了した。長時間ありがとうございました。事務局にお返しする。

(事務局事務連絡)

委員長：最後に委員から何かございませんか。

(なし)

課長：(お礼のあいさつ)

16:50 終了